



2023JMRC中部ダートトライアル新種目

# the 団体戦

開催概要

2023.03  
JMRC中部ダートトライアル専門部会

2023/3/8

JMRC中部ダートトライアル専門部会



# 改定履歴



Date	Version	項目	内容
2023.03	V3	車両ハンディキャップ	ラリータイヤ使用前提によりノーマルタイヤ使用時のハンディキャップ設定



# the 団体戦の趣旨

- ダートトライアルやってみたいんだけど使える車がないです…
- 若い時やってたんだけど、余裕ができたんでまた始めたいな…
- でも一人ではなかなか入れないなあ…
  
- そんな潜在的ダートトライアラーを仲間、チーム、ショップを通して掘り起こしていこう！
  - 気軽に始められる
  - 仲間でサポート
  - こんな環境をみんな提供して、まずはダートトライアルに触れてみよう

# the 団体戦の特徴



## 1. チーム対抗戦

- ・ 車両1台、3名1チームのチーム対抗戦
- ・ 各ドライバーのベストタイムの合計でチームの順位を決定

## 2. 2輪駆動車ならどんな車種でもOK!

- ・ 最低限の安全基準を満たしてる二駆車両ならどんな車でも参加できる
- ・ チームで車を用意して車両コストをシェア

## 3. ハンディキャップ制でコンペティティブ

- ・ ドライバーレベル、マシンレベルでハンディキャップ設定
- ・ 初心者でも遅い(?)車でも優勝できるチャンスあり!!

**まずはJMRC戦イベントでの特設クラスとして設定。参加者みんなので応援しよう!!**

# 競技方法



## ・ 2019年開催日程

- ・ 試行として、2019年6月2日：JMRC中部ダートトライアル選手権第4戦/東海シリーズ第3戦（SHALET）のクロースドクラスの一部門として開催

## ・ 参加申し込み

- ・ チーム単位で申し込みを行います。（参加申込書は別途準備）
- ・ 参加費用： 1チームあたり¥15,000
  - ・ ただし、ドライバーが後述の傷害保険適用外の場合は、仮クラブ登録費用として¥2,000/人とする
- ・ 全国JMRC加盟クラブ、並びに全日本学生自動車部連盟所属の大学自動車部に所属していること
  - ・ 未所属の場合は、主催クラブ仮所属の手続きをとること
- ・ 国内B以上のJAFドライバーライセンス保持を強く推奨します。
- ・ ドライバーは、JMRC共済適用クラブへの登録もしくは競技に有効な死亡時500万円以上の傷害保険に加入していること
- ・ 1チーム3名で登録します
- ・ 1チームにつき、参加車両1台、スペアカー（任意）1台までとします

## ・ 走行

- ・ 通常のダートトライアルと同じく、1名ずつゼッケン順に走行します。
- ・ 各ドライバー2トライ走行し、各トライの走行タイムにハンディキャップを加算し、タイムの短いほうをドライバタイムとする。
- ・ 3名のドライバタイムを合計し、総合タイムで短い順にチーム順位を設定します。

走行順（案）

団体戦 1 <sup>st</sup> ドライバー
東海シリーズ
選手権 RWD,PN,N1
散水
団体戦 2 <sup>nd</sup> ドライバー
選手権N2,S1
散水
団体戦 3 <sup>rd</sup> ドライバー
選手権S2
東海/北陸 クロースド

# 参加車両



## 参加車両

- 2019年国内競技車両規則及びJMRC中部共通規則に準じた、二輪駆動のP, PN, N, B, SA, SAX, SC, D車両
- ナンバー無し車両については、リアブレーキランプを除く灯火類、エアコン・ヒーター、前席ドア開口部周りのカバーおよびモール類を除く内装、運転席を除くシートの取り外しを可能とする。

## ロールゲージ：

- 6点以上のロールゲージを装着することを強く推奨する
- ただし、同一車両形式の最も古いメーカー製造年が2000年1月1日以前の車両、およびオープンカーについては、6点以上のロールゲージを必着とする
  - 2000年以降の車両でロールゲージ未装着の場合は、4点式以上のフルハーネス型シートベルト必着のこと

## 使用タイヤ

- 使用できるタイヤは、市販されている一般ラジアルタイヤ（スタッドレスを含むスポーツラジアルタイヤまで）とする。  
（海外製含めラリータイヤ、Sタイヤ、スリックタイヤ等競技用タイヤの使用不可）**ラリータイヤをOKとし、市販されている一般ラジアルタイヤ（スタッドレスを含むスポーツラジアルタイヤまで）使用時にはハンディキャップを設ける**
  - タイヤチューブの装着を推奨します

## その他

- その他の車両規則については、上記規則に準じるが、特に安全装置については留意すること

## 車両ハンディキャップ

- 駆動装置の種類及び排気量により、車両ハンディキャップを設定する

# ハンディキャップ



- 各チーム間での技術差を最小化するため、車両およびドライバーへのハンディキャップポイントを設定する。
  - チーム内の各ドライバーの**各トライのタイム**にハンディキャップポイント（1ポイント：1秒）を加算し、最終タイムとする

項目	内容	HDP (ポイント)
車両HDP (車両申告書に記載のこと)		
駆動装置	オートマチック車両 (AT限定免許で運転できる車両)	-3ポイント
	(標準装備含めて) リミテッドスリップコントロール未装着車両	-2ポイント
排気量	総排気量1500ccを基準に、これを超える分について、100cc単位で切り上げ、100ccを超えるごとにポイント加算	100ccを超えるごとに +1ポイント
スペアカー使用	スペアカーを使用した場合	使用した場合 +5ポイント
使用タイヤ	<b>一般ラジアルタイヤを使用した場合</b>	<b>使用した場合 -3ポイント</b>
ドライバーHDP (自己申告制としますが、インチキは恥ずかしいよ)		
上級者	過去5年間に、JAF全日本選手権に出場経験あり	+10ポイント
	過去5年間に、JAF地方選手権シリーズ6位に入賞経験あり	+5ポイント
	過去5年間に、JMRC中部ミドルシリーズのシリーズ優勝経験者	+3ポイント
初めて	前年度までに、JAF全日本選手権、JAF地方選手権、JMRC中部ダートトライアル東海/北陸シリーズ、池の平ダートトライアルシリーズ、今庄ダートトライアルクロソド戦、その他各地方の県戦等のダートトライアル競技への出場経験がない	-10ポイント

ハンディキャップポイントは、実施状況を鑑み、よりコンペティティブな環境を提供できるよう今後調整していく